



R5. 11. 1発行 認定こども園 同仁東保育園

ついこの間までの猛暑が嘘のように昼夜の寒暖の差を感じる季節となり、子どもたちも秋の深まりを楽しみつつ笑顔で遊んでいます。

さて、先日は一大イベントである運動会を無事に終えることが出来ました。当日はお天気にも恵まれ子どもたちも元気一杯。笑顔溢れる中怪我もなく、練習の成果を思い切り発揮できたと思います。

運動会が終わり子どもたちの顔つきも一回りお兄さん、お姉さんになった気がします。温かく応援して下さったお家の方々、本当にありがとうございました。

今月も様々な活動を通して子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

# 11月のよこてい

- 1 (水) 超禅 (4.5才児クラス)
- 2 (木) みどり組遠足
- 3 (金) 文化の日
- 6 (月) そろばん教室 (5才児クラス) 園庭開放
- 7 (火) ちびっこ広場
- 13 (月) ゆうゆう交流 (5才児クラス) 尿検査 (全園児対象)
- 14 (火) ちびっこ広場 パネルの日 (2才児クラス)
- 15 (水) レインボーお話の会 (3才児クラス) 超禅 (4.5才児クラス)
- 17 (金) リトミック (2.3才児クラス)
- 19 (日) 産業祭
- 20 (月) そろばん教室
- 21 (火) ちびっこ広場
- 23 (木) 勤労感謝の日 市民音楽祭
- 27 (月) サッカー教室 (4.5才児クラス)
- 28 (火) 避難訓練 ちびっこ MafT
- 29 (水) 体育指導 (4, 5才児クラス)

## 尿検査があります

全クラス対象で尿検査があります。当日朝の尿でないと検査できませんのでご注意ください。0,1才児で採尿が難しいという方はお気軽にお声掛けください。

## 年長児鼓笛出演について

11月19日(日) 産業祭 12:00~ 市民体育館前駐車場

11月23日(木) 高萩市民音楽祭 9:55~ 高萩市文化会館にて

4, 5歳児の子どもたちが一生懸命頑張りますのでお時間のある方は応援をお願い致します!

## 高萩市こども作品展について

11/25(土)~11/27(月)の3日間、市民体育館にて市内の保育園や幼稚園、小中学校からの絵画や書道、造形などが展示される作品展が開催されます。当園では5歳児の絵画を出品する予定です。是非ご家族でじっくり鑑賞し芸術の秋を楽しんで下さい。

## 「お手伝い」はいいこと尽くめ

皆さんのご家庭では子どもにお手伝いをしてもらっていますか? 子どもにお手伝いをしてもらった方がいいのはわかるけど、子どもに教えるのがおっくう、子どもにさせるより自分でやった方が早く終わる、忙しい時に失敗されるとイライラしてしまうなど正直面倒くさい...というのも事実。しかし、子どもがお手伝いから得られることは沢山あります。

### <お手伝いのメリット>

- ・自己肯定感が高まる
- ・親子のコミュニケーションが増える
- ・責任感が生まれる
- ・手先の発達につながる
- ・考える力が身につく
- ・自立につながる

保護者の方には負担がかかりますが、それ以上に子どもにはメリットが多くあるので少しの時間でもお手伝いをしてもらおう機会を作ってみてはいかがでしょうか。

お手伝いを頼まれると、子どもは親に信頼されていると感じ、心の土台である自己肯定感が育まれます。また、お手伝いをしたことで「ありがとう」と感謝の言葉を掛けられると「ママの役にたった」「自分は必要とされている」という気持ちを抱き自信や意欲も高まるでしょう。

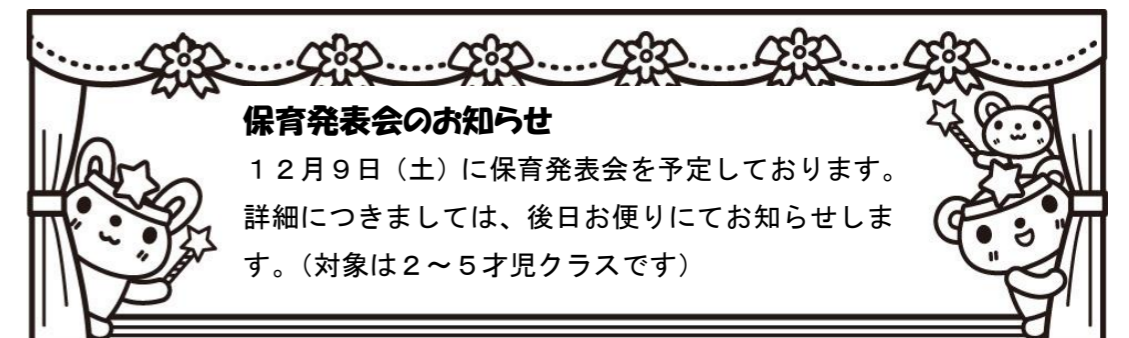
### <子どもの年齢によってできるお手伝い>

- 1~2才...ごみをゴミ箱へ入れる おもちゃの片づけ お箸並べ 食器並べ等
- 3~4才...食器を運ぶ 食器を洗う 洗濯物を置く 雑巾がけ等
- 5~6才...掃除機をかける 掃き掃除 お米を研ぐ等

### <子どもにお手伝いをしてもらう時の親が意識したいポイント>

- ① 子どもの年齢に合ったものにする
- ② 最後まで子どもにやらせる
- ③ 完璧を求めない
- ④ ポジティブな言葉かけを意識する
- ⑤ 感謝の気持ちを伝える

子どもの成長と発達に効果抜群のお手伝い、ぜひ毎日の生活に取り入れていきたいですね。大人も根気が必要になってくるので、無理はせずゆとりを持って取り組みましょう。子どもだけではなく、パパ、ママと一緒に成長できる機会になるはずです。



## 保育発表会のお知らせ

12月9日(土)に保育発表会を予定しております。詳細につきましては、後日お便りにてお知らせします。(対象は2~5才児クラスです)

## 保育園コラムリレー

今回は、1冊の絵本を紹介したいと思います。

その絵本の題名は「カラーモンスター」。色んな色のモンスターが色で気持ちを表現してくれ、分かりやすく子どもたちの気持ちに寄り添ってくれています。

黄色は「嬉しい」、青は「悲しい」、赤は「怒り」黒は「不安、怖い」緑は「穏やか」そして、ピンクは「ハッピー」

全ての色が混ざってしまったモンスターが、ぐちゃぐちゃになった気持ちを1つずつビンに分け気持ちを整理したり、どんな風にしたら気持ちがすっきりするかを教えてくれるストーリーになっています。その日のエピソードを踏まえながら「○○ちゃんの青だった気持ちが、優しく声を掛けてくれた○○くんのお陰で黄色の気持ちになったね。」等と読みきかせをしていくと子どもたちは、うなづきながら素直な気持ちで聞いてくれます。

そんな子どもたちは、小さいながらも自分だけではなく相手がいる集団生活の中で色々な気持ちを勉強中です。嬉しい、悲しい、悔しい!様々な気持ちと葛藤しながら過ごしています。しかし、この学びがこれから沢山の人と出会う子どもたちの成長には、大切な経験だと思っています。気持ちを切り替えたり、自分の中で折り合いをつけたり...相手を思いやる気持ちを身に付けたり。私たちもその時その時子どもたちがぶつかる気持ちに気付き、どう寄り添い、どう伝えていくか、一生懸命考えていきたいと思っています。1冊の絵本からずれてしまったかもしれませんが、保護者の皆様と一緒に子どもたちの成長を楽しんだり悩んでいけたら幸せです。

年中グループリーダー 佐川寿英